

景観に配慮した道路整備（歴史的施設への配慮）

一般国道470号 ななおひみ 七尾氷見道路

1. 事業の概要

能越自動車道は、石川県輪島市を起点とし、七尾市、高岡市を經由して富山県砺波市に至る延長約100kmの高規格幹線道路であり、地域間の連携を強化し、人・物流の円滑化を図り、産業の拡大など、地域の活性化を図る重要な路線です。

当該地方は、「能登の原風景を保全・継承しながら、拠点景観を保全・創出する景観づくり」の基本方針による景観形成の進められている地域です。また付近には七尾城跡が存在し、山城の歴史上重要な遺跡として、七尾城跡全域の保全が図られている区域であります。能登国分寺跡は、ふるさと歴史の広場「能登国分寺公園」として整備されています。

このため近隣の自然公園及び歴史的施設の景観を損なうことのない景観形成の整備が不可欠であり、植栽については、現地の樹木を採用し、柵や集水柵は現地間伐材を利用するなどの配慮が必要です。樹木植栽や側溝整備を行うことにより、盛土斜面の土砂流出を防止する効果が得られます。また、樹木植栽を早期に植樹することにより、七尾IC供用開始時において良好な繁茂を期待することが出来ることから、供用開始時において、景観と調和した道路として、地域のイメージアップに寄与するものであります。

2. 事業の経緯

平成8年度より事業に着手しました。

3. 平成19年度の実施内容

当該地区近隣の歴史的施設や自然公園の景観へ配慮した道路整備を推進します。

